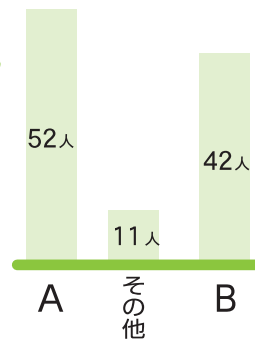


設問 2

町の今後のまちづくりの方向性について、あなたは、「地域コミュニティの充実」か「コンパクトな町づくり」かどちらに向かうべきだと思いますか？その理由も教えてください。

A 地域コミュニティの充実

地域コミュニティを充実させることで地域の絆を取り戻し、小規模自治体でありながらも、住民の皆さんの満足度を高めることによる、持続可能で魅力的なまちづくりを推進



B コンパクトな町づくり

加速化する高齢化・人口減少に加え、広範囲に点在している九重町の特徴を、率（経済性）の観点から、地域の中心コンパクトで効率を重視した町づくり

理由（一部抜粋）

A 地域コミュニティの充実

- 代々受け継ぎ、生まれ育った土地を捨てて集住することは、難しいと思う。
- 広大な面積であるからこそ、住民同士が密になり相互の支え合いが大切。
- 現実的に、コンパクトシティを掲げても無理だと感じる。
- 今後、行政区の維持を図るためにも、行政区の見直しも必要となる。
- 移住者を含め、若い世代をもっと受け入れ、地域コミュニティの維持を図る。
- 地域のつながりを深め、若者がUターンしたくなる田舎づくりを行うべき。
- 困ったときに集える場所をつくり、相互に助け合える関係性を構築すべき。

B コンパクトな町づくり

- 極端なコンパクトは難しいが、一部又は分散的にコンパクトを求めては。
- インフラや災害を考えると、集合住宅や高齢者専用住宅を整備すべき。
- 行政や医療・介護等の持続可能なサービスを受けるには集住すべき。
- 高齢化により住民の助け合い又は見守りについてもコンパクトな方が良い。
- 病院、商店、学校等を核としたコンパクトなコミュニティづくりを図る。
- 各々の地域色は大切であるが、施設の維持費等も考慮し、最小限にすべき。
- 地域コミュニティは既に崩壊しつつあり、それを食い止めるのは難しい。

「九重町第5次総合
「九重町の20
アンケート

設問 3

「2040年問題」をご覧ください、九重町の将来像（どのような九重町であってほしいか）について、どのように思われましたか？ ご感想やご意見、ご要望などを聞かせください。

年代・性別	内容
20代 男性	人口増加に向け、移住者が増えるように空き家や住宅設備を整えたり、外国人労働者の雇用を進める。または、地熱開発企業等の誘致を進め、新たな雇用の場を増やす取組も良いのではと思います。
30代 女性	九重町は大自然が残っているのが宝です。この宝をどう生かすのか、人が住みたくなる町とはどんな町なのか研究する必要があると思います。人々が多くなくても観光でどのくらい人を呼べるか？自然と組み合わせた観光コースを作るのも良いと思います。
40代 男性	生涯現役、いくつになってもやりがいを持って取り組める環境があれば、町全体が活性化されるのではないかと思います。
50代 男性	2万人、1万人いた町の人口が5千人に減少するのは大変だとは思いますが、町がなくなる訳ではありません。5千人なりの町づくりがあるはずで、5千人でできる町づくりをすすめましょう。
60代 女性	お互いが助け合い、信頼できる仲間でありたい。夢ですが、九重町内で自給自足できる地域になってほしい。農業への希望、安心安全な農業のあり方を検討してもらいたい。
70代以上 女性	2040年の予想人口を見て驚きました。若い人たちが九重町でずっと暮らしていたい、外からの人が移住したいと思えるような町であって欲しいです。子育て世代への対応は充実していると思うので、もっと情報発信をしていくべきです。